

はまゆう

2016 Jan.
No.654

1



特集1

社長年頭あいさつ

特集2

責任ある仕事に全力を尽くしています

ゆ

ゆっくりと
かまえておれない
自主自律

本社・営業グループ 山本文博さん



は

はつらつと
仕事とあいさつ
元気よく

技術部・技術グループ 相原幸治さん

今月は4人の方に「は」「ま」「ゆ」「う」でカルタを作っていました。

う

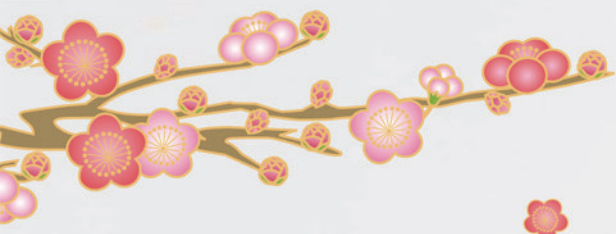
受け身から
積極的な
行動へ

本社・人事グループ 黒木咲理さん

ま

毎日の
成長重ね
結果出す

本社・経理グループ 早川 遵さん



創業120周年に向けた 第一歩を踏み出す

新しい年を迎え、松本 豊社長に昨年を振り返った感想と新たな思いを伺いました。

あと2年で、当社は創業120周年を迎えます。

個々人の目標に向かって、相応しい成果を上げていきましょう。



時代やお客さまの変化に 追隨して積極的な提案を

「2015年を振り返り、どのように思われますか？」

昨年（2014年度）の国内粗鋼生産量は、前年度並みと見られていましたが、中国の内需減・輸出増に端を発した国際市況の下落などで、高炉各社の計画も下方修正を迫られています。また、当社最大の顧客である新日鐵住金（株）殿の中期経営計画に基づく高炉休止などの施策も実行される予定で、これからは厳しい事業運営を余儀なくされてくると思います。

このような環境下ではありますが、鉄鋼事業ではコークス事業の拡充やCOURSE50への全社一丸となった対応、新日鐵住金ステンレス（株）殿の環境マスタープランへの参画などを進めてきました。

また、昨年9月には八幡支店コークス課が「新日鐵住金グループJK大会」に八幡製鐵所代表として出場したことは嬉しいニュースでした。関係者の皆さんには深く感謝申し上げます。

エンジニアリング事業では、新日鐵住金（株）殿から八幡スタックホイローダを初めて受注しました。韓国のSMH社とのコラボで、お客さまの負託に応えるとともに、更なる技術力向上を目指していきます。これも新規の仕事の開拓や、既存の仕事の深堀りなど、全社の皆さんが頑張ってくれた成果だと感じています。

「各事業部門に期待することはありますか？」

鉄鋼事業については、厳しい状況となりますので、事業部門の皆さんにはお客さまと課題を密に共有しながら、任された仕事にしっかりと応えて、積極的な提案を行い、これまで以上の信頼を獲得していただきたいと思っています。

エンジニアリング事業は、依然として競争激化の厳しい環境下ではありますが、得意分野の技術に更に磨きを掛けて、海外事業も含めた更なる事業拡大に期待しています。

半導体事業では、堅調な需要のもとで、生産・販売枚数の新記録を達成していますが、（株）東芝殿がシステムLSI事業のCMOSイメージセンサ事業から撤退されるなど、景気の浮き沈みが激しい業界のため、業界の動向やお客さまの情報収集に努めて、変化に柔軟に対応した事業運営をお願いします。

コンプライアンスはじめ、社会やお客さまからの要求レベルが上がってきていますので、私たちは、頭の中を時代の流れに沿うようにアップデートしながら、その要請に応えていかなければなりません。

「社員に期待することはありますか？」

社員の皆さんには、お客さまから求められる安全・環境・防災・コンプライアンスなどに対して、パートナー会社としての責務を全うしうる仕事をお願いしたいと思います。また「自ら考え、迅速に行動に移し、必ずやり遂げること」（自主自律の精神）を徹底し、仕事のレベルアップを図ってください。そして、脈々と

成果を生み出し続ける「恒久財産」を築くような仕事をしていただくことを期待しています。

安全は家族のためであり 家族に支えられ会社がある

「安全について、前年の反省をふまえ社員にお願いしたいことはありますか？」

「昨年は行動に起因する災害が多かったため、昨年は「行動災害撲滅」を強く意識してのスタートとなりました。しかし、年初に休業災害を発生させてしまい、安全成績は休業1件、不休業1件、軽処置17件、重大ヒヤリハット3件、合計22件と直近5年間では最多件数となりました。

行動に起因する災害が減り、低い残留リスクにおける災害が多く発生しましたが、5月発生の踏切での物損事故などに代表されるように、基本行動の欠落やルールの風化に起因する事故が発生するという、非常に多くの反省が残った1年でした。この事例は、一歩間違えれば大きな災害になっていたかもしれず、猛省しなくてはなりません。皆さんの日々の安全活動と努力で、確かに成果が積み上がっていますが、更にもう一歩、レベルを上げることが不可欠です。

今年（2015年度）は、過去の反省・教訓に基づき、改めて今、最も皆さんに伝えたい「基本の徹底なくして安全なし」をスローガンとしました。「ルール・禁制事項を守る」といった基本を徹底実践することをベースとして、規律の風化を見逃さ



ない仕組みづくりと実践で、今年こそ「休業災害ゼロ」を達成しましょう。

―安全について、大切な家族のためにも意識してほしいことはありますか？

日々の仕事には、注意しなければ危険を伴うことも多く、そのためを守るべきルールや禁制事項が存在しています。「安全」とは、家族に心配を掛けたり、悲しませたり、後悔させたりしないためのものでもあります。そのためにも「安全最優先」を常に意識してください。毎日元気に「行ってきます」と「ただいま」が言えるように、一丸となって前進したいと思います。

メリハリをつけた仕事で 仕事・私生活を充実させる

―ワーク・ライフ・バランスの大切さについて思われること、社員へのメッセージをお願いします。

ワーク・ライフ・バランスの問題が叫ばれるようになって十年。私たちも、真摯に受け止めて行動していかなければなりません。業務の効

率は「仕事と生活を充実させるためには、どうしたらいいのか」という視点で、仕事のあり方を見直すべきだと思います。当社の社員はまじめで、コソコソ型の社員が多いのが特徴ですが、業務の効率化や仕事にメリハリをつけるといった点が、課題ではないかと思っています。

一例として、長時間労働の問題については、昨年末から全社レベルで、定時間日の励行や業務の進め方・内容の見直しを行い、時間あたりの生産性向上を図る取り組みを進めているところです。仕事量に対して、十分な人員配置を行っていない職場もありますが、もともと仕事が行いやすくなる方法はないか、もう一度切り口を変えて効率化を考える必要があります。

社員一人ひとりが効果を自覚できるようにすれば、変化のスピードが加速していくと思います。ただし、効率化や合理化を求めるあまり、当社伝統の社風「誠心」^{まごころ}を失ってしまつては本末転倒ですので、この点には気を付けなくてはいけないと思っています。

それでは、社員とご家族の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

Editor's note

取材後記



「社長年頭あいさつ」の取材で、プライベートの話をついで伺いました。ご二男が今年大学受験で、息子さんごが親元を離れていくのを、ちょっと寂しそうに話されていました。

「数十年振りに、夫婦二人の生活になるのでたまに外食に行く以外の過ごし方を考えてみたい」と話されていたのが印象的でした。はまゆうで社員の趣味・特技などの活躍を知り、ご自身も見習いたいとのこと。社長も私たちと同様に「ワーク・ライフ・バランスが上手にできるようにになりたい」と思われていることが心に残りました。

エイトマン

仕事に しています

広大な君津製鐵所に通勤する600名の社員の足として、絶対に欠かせないのが通勤バス。全社の中でもバスを運行しているのは君津支店だけですが、その運行を支えているのが、車両班の8人のメンバー「エイトマン」です。通勤バスが動かなければ製鐵所の業務にも多大な影響を与えるだけに、その責任は重大。年間を通して1日も休まず、安全第一でバスを運行できるように、日夜業務に励んでいる車両班の取り組みをご紹介します！



▲新しい濱田バスはとともきれい



長尾敏夫さん

藤内竜也さん

内海昭彦さん

保刈直哉さん

君津支店の

特集

責任ある 全力を尽くす

▶ラフタークレーンは周りの社員の安全にも気を配り慎重に操作



▲新しいバスの横には、第67～69期 中期経営指針のスローガンが付いています!



佐々木宏一郎さん



水谷政秀さん



石井健二さん



櫻実さん

車両班の1日

安全に送り届ける任務には緊張感と共にやりがいもあります

実はあまり知られていない車両班の仕事。安全運転のかけには、いろいろな工夫や苦勞があります。社員の家庭と職場とのかけはしという役目を担う、車両班メンバーの2人に、その仕事の内容についてうかがいました。



内海昭彦さん

<プロフィール>平成9年入社。入社時に大型特殊免許を取得して車両班へ配属に。「バスやクレーンの運転はやりがいのある仕事。先輩が築いた伝統を引き継いで、今後も安全にこだわりたい」。妻と大学生・高校生の娘の4人家族。趣味は磯釣りや榎班長とクロダイ釣りに行くことも。

バスの運転もクレーン操作もコミュニケーションが大事！

●体調維持のために甲番・乙番に関係なく、同じ時間に起床するようにしています。ただ起床時間は年をとるごとに、早くなってきました(笑)。

●走行中運転手に話しかけるのは、禁じられています。利用者の乗降時には「おはようございます」「ご安全に」「お疲れ様でした」のあいさつを欠かしません。ほとんどの人の顔と名前は一致しますが、新人などはヘルメットを見たり、現場の送迎で名前を覚えるようにしています。何よりコミュニケーションを取ることを大事にしています。

●季節や時間帯によって、交通状況が変化するので、常にKYを行い、どんな状況にも対応できるように心がけています。

●会社にラフタークレーンがあるから乗ってみたいと思い、平成18年に移動式クレーン免許を取得。クレーン作業は自分一人で作業を行うわけではなく、周囲に人がいるので、細心の注意を払わないと大きな事故につながります。作業中は常に気を張っていますね。モノづくりの一端に触れることができるのが楽しみです。



藤内竜也さん

<プロフィール>平成5年入社。第一生産課で富津市のREセンターに配属となり2年間勤務。車両班の一人が定年になった際に、当時の管理課長からスカウトされて異動。「社員の家族を心配させないよう、無事に社員を送迎するのがモットー」。中学生2人と3歳の子どもの父。去年まで地区の自治会長とPTAの副会長をしていましたので、地域活動に参加するのは趣味となっています。

点検や洗車を欠かさず快適な運行に努めています

●濱田重工の看板を背負って走行しているので、市内を走るとき、濱田のバスはいつもきれいだと思ってもらえるよう、細心の注意を払っています。

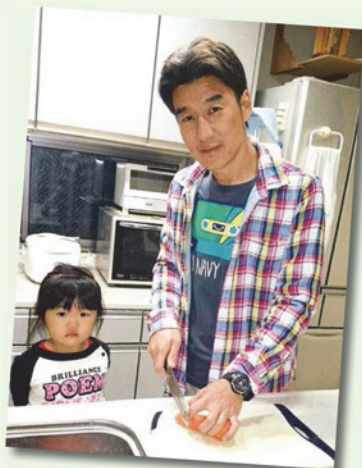
●安全運転のために、夜は遅くとも10時には寝て、睡眠時間は6~7時間確保。寝坊は絶対にできないので、毎日目覚まし時計とスマホのタイマー2つをセット。

●構内で不具合があれば、自分たちで点検やタイヤ交換をします。構内は、特に送迎状況が厳しいところもあるので、日々の点検がとても大切です。

●料理が得意なので、共働きの妻が作れないときは、家族のために夕食を作っておくことも。何でも作りますが、今日は肉じゃがを作ってきました。



◀釣りは家族からのプレゼント。このメッセージは大事な娘さんの写真の裏に書いてあるもの。安全運転を心がけるためにも常に携帯



◀愛娘の愛華ちゃんと料理をする藤内さん。人参を切るのもお手のもの

車両班の作業内容

①通勤バス運行

各勤務番(甲番・乙番・丙番、常昼)の出退勤に合わせ、社宅・寮などから君津製鐵所構内の各サブセンターまで通勤バスを運行します。定時の対応のみならず、早出や残業の対応もあります。

②文書便運行

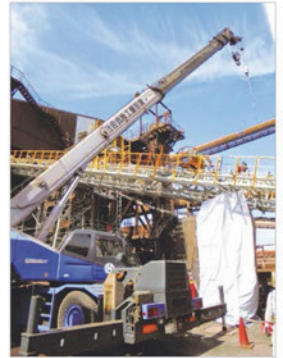
毎日(土日を除く)午前と午後の各1回、製鐵所構内の各サブセンターおよび支店事務所の文書や荷物を運ぶ文書便を運行しています。時にはこれに合わせて、社員を現場に送ることも。

③ラフタークレーン運転

各課の要請に応じて、保有している25tラフタークレーンを各作業・工事現場で運転・作業しています。クレーンを要する現場は多く、作業頻度も高い仕事です。

④特別便対応

各種行事(潮干狩り、夏祭りなど)や、研修(新入社員研修など)実施時に、社宅や職場から現地までの特別便を計画、運行しています。年間を通じて、数多くのイベントに対応しています。



レポート 現場におじゃましました

◆出発前点検◆

運行途中で不具合が発生して、バスが動かなくなるのを避けるため、出発前にはエンジンやタイヤなどを中心にトラブルがないかを点検。また、利用する社員が通勤時間を快適に過ごせるように、夏場には冷房を、冬場には暖房を入れて車内の温度調整もしっかり行っています。

※社内報用の撮影のため安全防具は省略しています



◆スタートは2台で◆

バスは始めに2台がワンセットで走り、君津製鐵所構内に入ってから1サブセンター行きと、2サブセンター行きの二手に分かれて運行します。



▲スタートは2台で



◀乗車の際は通門証をチェック

◆出発前ミーティング◆

運行にあたる全員でその日の体調を報告し、アルコールチェックを実施。さらに服装や免許証を点検し、その日の予定を確認します。最後に「安全運転五則」「三法七則」「指差呼称演練」を復唱して勤務がスタート。



◆まめに洗車◆

利用者が毎日気持ちよく職場に通えるように、しっかりと洗車。



◆待機時間も安全点検◆

毎日走行すると、タイヤに異物がかみ込むケースもあるので、待機時間も細心の注意を払って車両を点検しています。

操業を支える6つの秘密

班長が語る車両班の仕事とは？

三交替制で365日稼働する通勤バスや早出残業バスの運行だけじゃない。社内の公式的なスポーツ大会や各種イベント、工場見学などに際して運行する非定常運行バス。そして文書運ぶ連絡車やラフタークレーンまで動かしているのが車両班の業務。その知られざる仕事について、車両班班長の榎さんにうかがいました



榎 実さん(車両班班長)

秋田県出身。昭和55年に入社。旧・第二生産課で2年間勤務する間に、ラフタークレーンに興味をもって自費で免許を取り、その際に大型特殊免許も取得。その後、旧第三生産課に異動して3年間ラフタークレーン運転業務を担当。その後、ラフタークレーンと大型特殊免許を持っていたため、車両班に異動。現在に至る。趣味は磯釣りで、クロダイの大物を釣り上げ雑誌に載ったことも。



SECRET

1

寝坊は絶対禁物！
お酒もほどほどで
切り上げる

車両班のメンバーにとって絶対禁物なのが遅刻です。社員の皆さんを職場に運ぶバスが動かなければ、製鉄所の稼働にも多大な支障をきたしてしまいます。それだけ大きな責任を負っているのが、バス運行の仕事です。

車両班は甲番・乙番の二交替で通勤バスを運行し、三交替シフトに対応。それに加えて、常昼や、早出・残業バスのほか、連絡車やラフタークレーンの運転を行います。甲番の始発が朝6時。私の場合は朝5時に起きて、準備をします。

何より大切なのは健康管理で、しっかりと睡眠をとるようにしています。お酒を飲んだ日も、決して深酒はせず夜9時には飲み終えて、早めに寝ています。

Part 1

一番うれしいのは
感謝されたとき！

この仕事をしていてうれしかったこと、やりがいを感じる瞬間を5人の車両班の皆さんにうかがいました。

保刈直哉さん

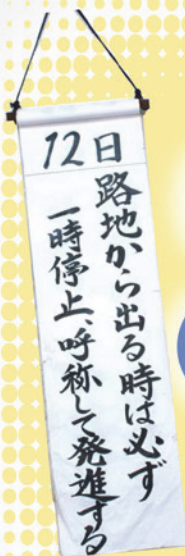
公共の高速バスを利用するとき、運転の荒いバス会社にあたると気持ちが悪くなる場合があります。そういった経験もあって、入社以来、気持ちよく乗ってもらうことを意識して、こだわって運転をしています。

この仕事をしていてうれしかったことは、定年退職された方から、お礼の品と共に感謝の言葉をいただいたこと。また、真冬の朝、暗いうちから早めに暖房を入れ運行準備をするので、甲番出勤の方にいつも快適だと感謝されること。モチベーションが上がります。



石井健二さん

私は乗車時に「ご安全に！」お疲れさま」とよく声掛けをしています。皆さんが「お願いします」「ありが



▲班員が「日めくり安全カレンダー」を手作りし、毎日確認



もちろん運転中はいつも以上に安全に気を配りながら走行します。ただし、雪や渋滞などで遅れそうになっても、何よりも安全確保を最優先し、決してスピードの出しすぎや無理な割り込み運転、急な車線変更はしません。事故が起きれば工場の操業に多大な迷惑をかけるからです。私を知る限り、これまで雪で1回、大渋滞で1回、それぞれ30分ほど遅れたことがありますが、それ以外はほぼ定刻に運行しています。

SECRET 2

雪の日は 2時間早く起き 安全対策に余念なし

安全に時間通り運行するためには、天気予報もチェック。特に雪の予想が出ると、いつもより2時間早く起きて、車内を暖めるために暖房を入れ、タイヤにチェーンを巻く作業をします。

SECRET 3

危険予知ポイントの マップを作り 共有している

事故を未然に防ぐために作っているのが「危険予知ポイントマップ」。運行ルートの中で事故が起きそうな場所をチェックします。歩行者の飛び出しや車との接触、割り込みなど、どんな事故が想定されるかを全員が情報を持ち寄って地図化。事故を未然に防ぐような、イメージトレーニングをしています。

また、製鉄所構内では工事や通行制限もあるので、あらかじめ情報収集をしてお対応しています。

運行中特に心がけているのは「前を走る車が突然停まるかもしれない」といった「かもしれない運行」で慎重な運転をすること。その結果、無災害記録1万7000日を記録し、現在1万8000日に向けて記録更新中です。



▲現在、マップはさらに進化させて見直し中

とうございました」と気持ちよく、あいさつを返してくれるのでうれしいですね。車庫に着き、バスのエンジンを切ったとき、今日も一日無災害で終えることができた達成感にとってもやがたい感じます。



長尾敏夫さん

設備の突発故障で呼び出されることがありますが、ラフタークレーンの作業で無事に設備が稼働できたとき、現場の人から感謝されます。そんなときが、クレーンを運転していて良かったと思う瞬間です。

また、工事を終え新設備が完成したときも、無事故で作業を終えることができ、達成感で気分は最高。そういった封筒の落とし物を発見し、落とし主に届けたときにも、とても感謝されてうれしかったです。



SECRET

4

1日5回洗車して「常にきれいなバス」だと評判にー!



▲快適なバスを目指し、丁寧に洗車

製鉄所構内は散水が行き届いており、タイヤが湿潤状態のため、構外に出ると泥やホコリが付着します。泥は付着すると落ちにくく、放置すると落ちなくなるので、運行後すぐに、高圧洗浄機を使って洗車を行っています。冬は凍ることもあり、寒くて大変ですが、それが車両の伝統。やっぱり皆さんには気持ちよく利用してほしいですから。その結果、君津製鉄所でバスを運行する10社のなかでも、「所内一きれいなバス?」と言われることも。始業・終業の点検のほか、週末点検・手入れを入念に行います。グリスアップ・油差し・エンジンルーム内の清掃と、入念に点検・手入れをしています。365日運行し続けるには、毎日のメンテナンスが何より重要なのです。

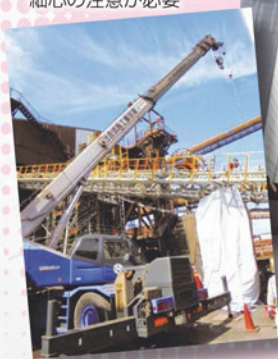
SECRET

5

メンバーの半数がラフタークレーンの免許を持ち、突発対応



▶ラフタークレーンは高さがあり、運転には細心の注意が必要



君津支店ではラフタークレーンを1台所有していますが、その運転操作を行っているのも車両班。現在は4名がクレーンの免許を取得し、現場でフレーム更新や撤去作業、各工場の定修作業などを行っています。最近のクレーンは、コンピュータ搭載により安全な操作が可能ですが、一人前になるには10年かかります。とくに合図担当とタイミングを合わせるのに、注意力を要する難しい作業。また、現場で急にラフタークレーンが必要になった場合の突発対応も行っています。当社の現場でトラブルがあると、製造ライン全体に迷惑をかけてしまうので、24時間対応で、時には夜中に突然の呼び出しがあり、ラフタークレーン運転のために出勤することも。

Part 2

一番うれしいのは感謝されたとき!

この仕事をしていてうれしかったこと、やりがいを感じる瞬間を5人の車両班の皆さんにうかがいました。

水谷政秀さん

小学校の卒業文集に、将来の夢はタクシートの運転士と書いた覚えがあります。今はバスの運転ではありませんが、毎日楽しく運転ができ、やりがいを感じています。ですから、夢を現でできているともいえますね。

一番の思い出は、2013年の大雪の時。前日から車両班全員でバスのタイヤチェーンの取り付けを行い、丙番出勤と甲番出勤を無事に務めることができました。社員から「大変だったね」「お疲れさま」と労ってもらえたときは、本当にうれしかったです。



佐々木宏一郎さん

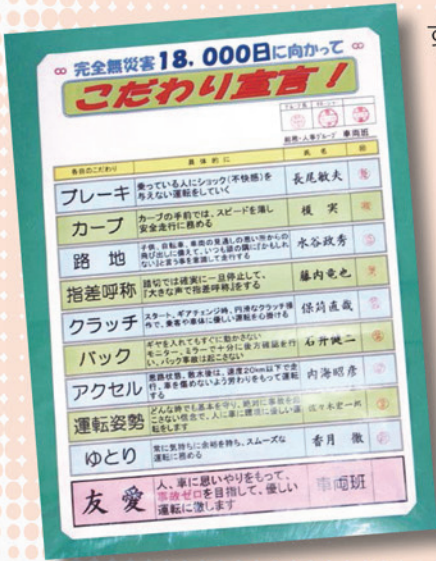
ある日、教育研修で他社社員と話す機会があり「濱田重工のバスはいつも交差点などで、進路を譲っていただきありがたい。限られた時間で

SECRET 6

バスを運転する「職人」として こだわり宣言がある

メンバーは全員、「職人」としてのこだわりを持って運転しています。私のこだわりは、カーブでもバスが揺れないように曲がること。ほかにも「いつブレーキを踏んだか、わからないように停まる」など、各人にこだわりがあります。

車両班は総務・人事グループに属していますが、私たちの仕事は社員の皆さんに、最後に「ありがとう」と言われること。ある時、その日が定年で出勤最後の日だという社員がやってきて、「台風の日も雪の日も送迎ありがとうございまして」と、全員にドリンク剤をくださったことがありました。この仕事をやっていて良かったと感激しましたね。ちなみに、安全運転の秘訣は、人に車に思いやりを持つことです。



▲こだわるポイントを全員で宣言し
事務所に掲示

▼無災害18000日を目標に決意の
安全旗を作成



▲平成27年3月19日に無災害17000日を達成した際の記念写真。次は目指せ18000日！
▲平成27年11月、長尾敏夫さんが安全運転を認められ千葉県警察本部長から表彰された

TOPIC



▲いつも安全運転

動かなければならぬ製品出荷車両がスムーズに移動できるので、工場全体の生産を円滑に進めることができている」と言われました。構内走行中は、特に特殊車、重機などの作業車両優先で進路を譲ることを意識し日々運転していたので、とてもうれしかったですね。

また、定期採用者を羽田空港から君津支店に送るのも車両班の仕事。数年動続した方が「右も左もわからなかった自分に親切にしてください。故郷を離れ不安な中、あの日、濱田バスから見たアクアラインからの都会の景色と製鉄所の姿を今も覚えている」と話してくれました。社員の歴史の一部に少しでもかかわれたと思いきや感激しました。

今後も、社員の皆さんに心地よく乗っていただくこと、子どもの歩行者や高齢ドライバーなど、相手の気持ちを考えて思いやり運転で、事故やトラブルゼロを目指します。

車両班の皆さん いつもありがとうございます!



いつもバスを利用する方から、君津支店の操業を支える車両班に「ありがとう」のメッセージが届きました。

休日にも、雪の日にも バスの運行をありがとうございます

総務・人事グループ 無津呂正人さん

一番感謝しているのは、イレギュラーな運行依頼に快く応じてくれること。ラフタークレーンなどの突発作業をお願いする際、休日でも嫌な顔ひとつせず、快く引き受けてもらえ、本当にありがたいです。

また、車両班の皆さんは、熟練者ばかり。前日の夜に翌朝の天候不良が予想されると、危険を予知して、翌朝の勤務は自主的にいつもより早起きし、対策をしてくれています。当たり前のこともかもしれませんが、素晴らしいことです。

常に安全運行をしていただけていますが、2016年も無事故無災害で安全運転に努め、次の目標「1万8000日無災害」を目指してがんばってほしいですね。朝早いので、寒い時期にはバス清掃などで、風邪を



▲安全衛生委員会など定期的に連絡を取り合い、日々の運行に支障が出ないように努めています



ひかないようにしてください。これからもよろしくお願います。

洗車や清掃などの気配りで バス通勤が快適です

溶銚精錬課 伊藤達也さん

平成26年に新入社員リーダーをした際、毎日の運行（新人用特別便）に加え、佐倉クレーン学校や鹿野山（座禅研修）などへ、バスを出していただきました。普段のバスで高速に乗ったり、遠方に出かけたりすることが新鮮だったのを覚えています。

車両班の方は、常に朝早くからバスの暖房を入れて暖めてくれたり、洗車やバス内の清掃も良くして、快適にしてくれます。帰りの運行は、私たちを送った後までが仕事なので、夜遅くまで非常に大変だと思います。いつも安全運転をありがとうございます。



▲伊藤さんも安全第一で仕事に集中



今後も高度な運転テクニックで 無事故・無災害を続けてください

製鋼スラグ課 大和誠忠さん

仕事の行き帰りにバスを利用していますが、車両班のバスは安心して乗れます。例えば、第2サブセンター前
にある狭い場所での運転。見ていて大変そうだなと思う
ことがあります。特にバックの切り替えしをするにはテ
クニックが必要ですが、車両班の方々は慎重に運転して
くださっています。

また、以前乙番の帰りにバスに乗った際、雪が積もり
そうな悪路での走行でしたが、さすがに上手な運転でし
た。これからも安全運転を心がけ、連続無事故、無災害
記録を継続していただきたいと思っています。



▲2016年も安全第一で働きます！



クレーン操作が社内のできるのは 君津支店の大きな強みです

工事課 小松史幸さん

ある時、新設フレームを設置する工事の際、その中の
1本のフレームが既設コンベアの奥に配置されていま
した。作業に関していろいろな制約のある中で、車両班
の方々と事前に現場でものを見ながら打ち合わせ、調整
を繰り返して、25tのラフタークレーンを操作。クレーン
の能力を最大限に利用し、設置することができました。
外部調達のクレーンでは事前の確認ができないため、こ
うした確認調整が運転手立ち合いでできるのが、社内の
強みだと感じた出来事でした。

また、少ない班員でありながら、送迎バスの運行と並
行して、交替シフトや休日出勤などの対応をしてくれ
たり、ラフタークレーンの作業にも協力してくれて助か
っています。これからも慎重、かつスピーディーな操作
で、安全作業をよろしく願います！



▲クレーン、玉掛け作業では運転手と玉掛け者の連携が大切。写真はラフタークレーン運転手に声掛けする小松さん

